

ファイル単位の自動暗号化で機密情報を守る

# InterSafe IRM



※IRMはInformation Rights Managementの略称です。

## 万一の機密データ流出時も、情報は漏洩させない、それが自動暗号

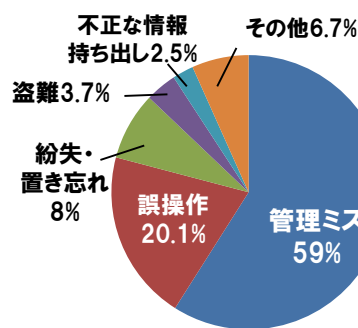
機密情報を狙った標的型攻撃は、いっそう緻密化し増加の一途をたどっており、一般的なウイルス対策ソフトやファイヤーウォール等だけでは、攻撃を防ぐことは困難な状況です。

個人情報漏洩の原因は、およそ9割近くが**管理ミス**、**誤操作**、**紛失・置忘れ等の利用者のミス**※であり、システムの対応が必須です。

また、パスワード付与や手動での暗号化などのルールへの運用が順守されずに大量の年金情報が漏洩した事件もまだ記憶に新しいところです。

内部からの不正な情報持ち出しは、多層的な防御策が必要であり、出口対策に加えて、**万が一情報が持ち出されてしまった場合でも、情報の漏洩を防ぐための対策**を考える必要があります。

### 個人情報漏洩原因



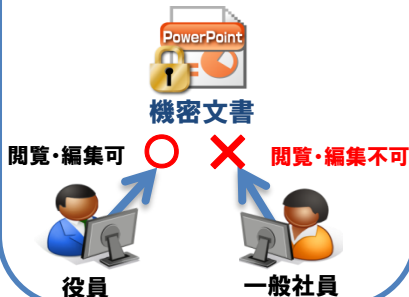
※ 出典：2014年日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA) 「2012年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書」

## InterSafe IRM 3つの特長

### 安心！

#### 文書レベルに応じた閲覧権限

- ▶ 自動暗号化と同時にファイルごとに自動で閲覧・編集権限を付与
- ▶ ファイル作成者の権限ごとにポリシーを自動的に付与



### 安全！

#### 誤送信・紛失・盗難 情報漏洩の防止

- ▶ メール添付や、USBメモリなどの可搬媒体にデータをコピー・移動しても、暗号化継続
- ▶ クラウドサービス上のデータも、暗号化機能の継続で、安全な情報共有が可能



### 簡単！

#### 業務効率を落とさずにセキュリティ対策

- ▶ ファイル閲覧・保存時に自動的に暗号化
- ▶ ファイル暗号・閲覧時にパスワード不要



#### オプション1

#### 自動暗号化フォルダー

あらかじめレベル設定をしたフォルダに、作成した文書を格納するだけで自動的にファイルが暗号化されます。暗号化を手動で運用している場合などの、暗号化漏れによる情報漏洩や権限外ユーザによる閲覧、持ち出しを防止します

#### オプション2

#### SDK for IRM

文書管理システムやグループウェアなどの連携で、サーバ上では平文管理、利用時や持ち出し時のみ暗号化するという、セキュアなファイル管理を実現します。

#### オプション3

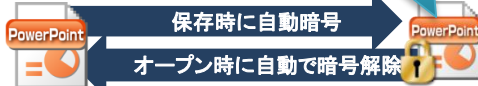
#### スタンドアロン クライアントオプション

業務委託先など独立した環境でもデータの一元管理が可能です。このオプションがInterSafe IRMでもご利用できるようになりました。

# 使い勝手が良く、強固な情報漏洩対策

## ①ファイル保存時に自動暗号 \*管理ミス・誤操作対策

権限があれば、ファイルを開いたり、保存した時点で自動暗号/復号を実行。利用者はセキュリティ対策を意識せず通常通りデータを扱うことができます。



## ②利用者毎にファイルのアクセス権限を自動付与

\*紛失・置き忘れ対策

ファイルサーバーの閲覧権限の設定不要。(AD連携可)  
機密文書・重要文書は、ファイル利用の権限によって閲覧制限ができ、利用履歴もファイル単位で管理できます。



## ③画像や動画など多様なソフトウェアに対応 \*管理ミス対策

文書ファイルに加え、動画やデータベースソフトなどの多様なアプリケーションに対応しています。また独自に利用しているソフトウェアも管理画面で登録すれば、暗号化対象ファイルとして利用できます。万一、標的型攻撃でデータが流出しても第三者は内容を見ることはできません。

※ご購入前には事前の検証をお願いします。



# 検証済み 暗号化対象アプリケーション

検証済み暗号化対象アプリケーション	対応OS
Microsoft Word (2010,2013,2016) Microsoft PowerPoint (2010,2013,2016) Microsoft Visio 2010 Microsoft メモ帳 Microsoft Paint Adobe Reader DC Open Office 3.3 (Writer / Calc / Impress) Microsoft Windows Media Player	Microsoft Excel (2010,2013,2016) Microsoft Access 2010 Microsoft ワードパット Fuji Xerox DocuWorks Viewer 6.2 / 7.2 Microsoft Picture Manager
	JustSystem 一太郎2011

※暗号化したいアプリケーションを独自に追加することも可能です。

(2016年12月時点)

## システム要件

【注意】

・本製品は暗号化機能を実装しているため、中国等利用規制のある国ではお客様による利用申請が必要となります。

製品プログラム	対応OS
◆クライアント導入PC (InterSafe Client導入PC)	Microsoft Windows 7 Professional / Enterprise / Ultimate SP1 Microsoft Windows 8.1 Pro / Enterprise Microsoft Windows 10 Home / Pro / Enterprise ※32/64bit対応 ※日本語/英語/中国語(簡体) OS対応
◆ILPサーバー ◆ユーザ/AD連携ツール	Microsoft Windows Server 2008 Standard / Enterprise SP2(32bitのみ) Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard / Enterprise SP1 Microsoft Windows Server 2012 Standard / R2 Standard Microsoft Windows Server 2016 Standard Edition ※日本語OSのみ対応

※すべての動作を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により、今後変更になる可能性があります。※その他詳細については弊社ウェブサイトをご確認ください。

## 価格

ライセンス数	一般ライセンス	ガバメントライセンス	アカデミックライセンス
5~99	¥15,000	¥12,000	¥10,500
100~999	¥12,000	¥9,600	¥8,400
1,000~	お問い合わせ		

※表示価格は、ライセンス単価(税抜き)です。 ※利用する端末数に応じたライセンス数が必要です。 ※製品価格の15%がサポートサービス費として初年度より発生いたします。  
※クライアントライセンスのみの課金となり、サーバライセンスは必要ありません。

## アルプスシステムインテグレーション株式会社

本社	〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町1-7	TEL:03-5499-8045
古川営業所	〒989-6143 宮城県大崎市古川中里6-3-36	TEL:0229-23-7734
仙台営業所	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-9-16 朝日生命仙台中央ビル4F	TEL:022-713-6951
名古屋営業所	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-23-2 第二昭和ビル6F	TEL:052-746-9766
大阪営業所	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3-18-14	TEL:06-6386-2673
福岡営業所	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-6 第3博多借成ビル5F	TEL:092-483-1460
白金台オフィス	〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル7F	TEL:03-5795-4626

※ALSI(アルシー)はアルプスシステム インテグレーション株式会社のコミュニケーションブランドです。  
※InterSafeはアルプスシステム インテグレーション株式会社の登録商標です。

http://www.alsi.co.jp/ Email ssg@alsi.co.jp

お問い合わせ、ご用命は下記へお申し付けください。